

鈴木としゆき

No.42

県政報告紙
発行・鈴木としゆき
鈴木としゆきだより
浜松市北区初生町1620
☎053143918311



▲全国みかん議連役員会

新年度が始まり、県の本年度事業も徐々に進んでまいりました。そんな中、6月議会も始まりました。本件の景気は、海外経済の減速や円高の影響等により、足踏み状態が続いているものの、個人消費は全体としては持ち直しつつあります。4月の有効求人倍率は0.82倍となり、11か月連続で前月を上回りました。欧州の債務危機、夏場の電力供給の制約、原油高等を注視しながら、引き続き的確な経済・



雇用対策を展開します。また、新東名開通は、長い年月をかけた社会資本の整備でありました。災害、経済発展と場の力を発揮できる道路であり、新東名・現東名のダブルネットワーク化によってIC付近の観光拡大、SAの本県食材による加工品お土産販売など、さらには郡部の人口増加と雇用創出など経済効果が大きく期待されます。一方、現東名のSA、PAもともに盛り立てていなくてはなりません。社会資本の整備をいかに生かしていくのか、そのための施策を考え、県土発展のために頑張ります。

今夏の電力需給

見通しについて

(中部電力)

● 今夏の最大電力は、8月において2,648万kWと想定しております。

● 供給力については、上越火力発電所1-1号(出力:59.5万kW)の営業運転開始、長期計画停止火力機の運転継続に加えて、積み増ししました。供給力は、2,785万kWとなります。

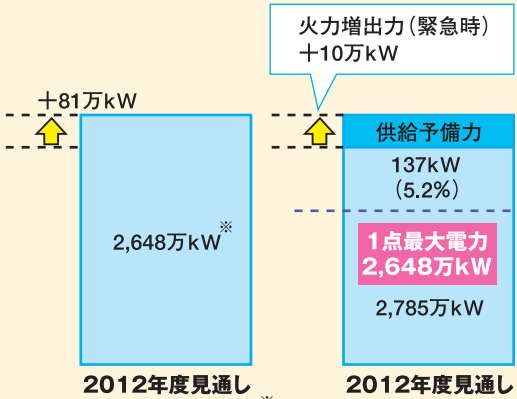
● 需給逼迫が見込まれる地域の電力会社の要請を受けて、ピーク時間帯(13時~16時)に100万kW、それ以外の時間帯は最大で230万kW程度の電力融通を実施する予定です。

※夏季に電力需要が特に高くなる平日13時~16時の時間帯を中心に、節電へのご協力を賜ります。

4/11~13 九州視察



▲鹿児島 九州電力 山川地熱発電所



※2010年猛暑並みの1点最大電力に節電を織り込んだ想定